

### 年齢階級別退院患者数

年齢区分	0 ～	10 ～	20 ～	30 ～	40 ～	50 ～	60 ～	70 ～	80 ～	90 ～
患者数	-	12	141	116	193	258	543	579	672	217

60歳以上の患者の割合が7割を占め、地域社会の高齢化を反映しています。

## 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

◇10 症例に満たない場合は「-」で表示することとなっており、対象患者が「0」ではありません。

### 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
170020xxxxxx0x	アルコール飲酒による精神および行動の障害	88	1.30	2.30	0.00	31.05	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎【特別な手術、処置を伴わないもの】	62	28.71	21.25	16.13	86.15	
060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) 【血管塞栓術を伴うもの】	50	8.86	11.74	0.00	72.70	
150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎【特別な手術、処置を伴わないもの】	44	4.68	5.50	0.00	48.77	
030400xx99xxxx	前庭機能障害【特別な手術、処置を伴わないもの】	42	4.07	5.24	0.00	65.90	

内科的疾患の全般を担っています。誤嚥性肺炎は平均年齢が86歳と高齢の患者の治療を行っています。耳鼻咽喉科での入院ではありませんが、めまい患者も耳鼻咽喉科外来と連携をとって治療にあたっています。

### 循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患【冠動脈形成術などを伴うもの】	22	5.00	4.71	0.00	68.82	
050210xx97000x	徐脈性不整脈【ペースメーカー交換を伴うもの】	19	9.21	11.38	0.00	74.74	
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患【心臓カテーテル法による諸検査を伴うもの、血管内超音波検査あり】	16	2.69	3.22	0.00	65.38	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患【心臓カテーテル法による諸検査を伴うもの】	13	2.08	3.06	0.00	68.54	
050130xx99000x	心不全【特別な手術、処置を伴わないもの】	-	-	17.95	-	-	

心臓疾患の患者を主に担当している循環器科では、狭心症診断を行うための心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈ステント留置術を行っています。

### 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍【化学療法、オキサリプラチン使用】	43	3.00	4.42	0.00	71.37	
060035xx99x60x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍【化学療法、ペバシズマブ使用】	30	3.00	4.48	0.00	71.93	
060245xx97xxxx	痔核【痔核手術を伴うもの】	22	5.27	5.85	0.00	58.55	
060040xx99x50x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍【化学療法、オキサリプラチン使用】	16	3.00	4.50	0.00	68.88	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷【特別な手術、処置を伴わないもの】	13	2.38	7.52	7.69	64.00	

外科では主に胃癌、大腸癌などの悪性腫瘍に対する集学的治療(手術療法、化学療法など)を行っています。良性疾患では、痔疾患、胆石症、鼠径ヘルニアなどの手術を行っています。

### 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	58	56.69	20.57	6.90	78.64	
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折【人工骨頭を挿入するもの、骨折観血的手術などを伴うもの】	58	61.84	27.63	8.62	79.53	
160980xx99x0xx	骨盤損傷【特別な手術、処置を伴わないもの】	19	40.11	20.45	10.53	75.05	
160760xx97xx0x	前腕の骨折【骨折観血的手術などを伴うもの】	18	5.44	5.49	0.00	53.39	
160700xx97xx0x	鎖骨骨折、肩甲骨骨折【骨折観血的手術などを伴うもの】	13	9.15	5.86	0.00	59.08	

整形外科では加齢などにより骨密度が減少することで起こる椎体骨折や、股関節や大腿骨に対する手術を行っています。平均年齢 79 歳と高齢者が多いことわかります。術後安定した患者は同一施設内の回復期リハビリテーション病棟に転棟しリハビリが継続可能です。

### 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
160200xx0200xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 【鼻骨骨折整復固定術等を伴うもの】	-	-	5.80	-	-	
080011xx99xxxx	急性膿皮症【特別な手術、処置を伴わないもの】	-	-	11.97	-	-	
020230xx97x0xx	眼瞼下垂【眼瞼下垂手術を伴うもの】	-	-	3.44	-	-	
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物【皮膚、皮下腫瘍摘出術を伴うもの】	-	-	4.28	-	-	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷【特別な手術、処置を伴わないもの】	-	-	7.52	-	-	

形成外科は顔面骨骨折や体表面全般の手術を行っています。

### 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未 満)【手術なし、エタラボン使用 副傷病なし発症 前Rankin Scale 0、1又は2】	43	37.53	16.54	4.65	68.67	
010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以 外)(JCS10未満)【特別な手術、処置を伴わない もの 副傷病なし】	37	60.30	19.35	13.51	62.68	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷【特別な手術、処置を伴わない もの】	33	7.03	7.52	3.03	60.00	
010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤【動脈造影カテーテル法を伴うも の】	18	2.00	3.20	0.00	59.11	
010060x2990411	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未 満)【手術なし、エタラボン使用、副傷病あり発症 前Rankin Scale 0、1又は2】	15	12.27	18.76	13.33	71.33	

脳神経外科では脳梗塞、脳出血、頭部外傷などの脳の救急疾患を主に治療しています。急性期の治療後は同一施設内の回復期リハビリテーション病棟に転棟しリハビリが継続可能です。くも膜下出血予防のため、未破裂脳動脈瘤入院も増えています。

眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
020200xx9710xx	黄斑、後極変性【硝子体手術あり、水晶体再建術を伴うもの】	14	7.93	7.72	0.00	68.14	
020200xx9700xx	黄斑、後極変性【硝子体手術あり】	-	-	7.70	-	-	
020240xx97xx0	硝子体疾患 手術あり片眼	-	-	7.01	-	-	
020110xx97xx0	白内障、水晶体の疾患【水晶体再建術、縫着レンズ挿入を伴うもの】	-	-	2.91	-	-	
020180xx97x0x0	糖尿病性増殖性網膜症【硝子体手術を伴うもの】	-	-	8.27	-	-	

眼科の入院はほぼ手術目的です。眼科で最も多いのは白内障手術目的での入院となりますが、対象症例ではないため上記に計上されていません。

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
110070xx0200xx	膀胱腫瘍【膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術を伴うもの】	-	-	7.44	-	-	
110420xx97xx0x	水腎症(その他)【尿管ステント留置を伴うもの】	-	-	5.33	-	-	

初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発	病期分類 基準※	版数
胃癌	-	-	-	-	-	17	1	7
大腸癌	-	-	-	-	-	119	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	42	1	7

※1 UICC TNM分類

患者数が10症例に満たない場合が「-」で表示することとされているので「0」ではありません。再発には他施設で治療された後、当院にて治療された患者を含み、繰り返し入院された場合はその回数を患者数としています。

5大癌のうち、当院での治療は胃癌、大腸癌、肝癌がほとんどです。胃癌、大腸癌は主に外科が、肝癌は主に内科が治療を行っています。尚、手術後の補助化学療法はすべて再発症例に含まれますので、再発症例が多い結果となっています。

## 成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	32	78.28	82.91
重症	11	31.55	86.36
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

20歳以上で発症した肺炎を対象にしており誤嚥性肺炎は対象外です。

重症度分類で10症例未満の場合は「-」にて表示することとなっており、対象者が「0」というわけではありません。

平均年齢が80歳を超え平均在院日数が長くなるがありますが、抗菌剤の適正な選択を行っています。

中等症の平均在院日数が長くなっていますが、一般病棟から療養病棟に転棟し長期入院された患者が含まれているからです。一般病棟での平均在院日数は27日です。

## 脳梗塞の ICD10 別患者数等

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	-	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	-	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	-	186	70.88	73.15	9.14
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	-	10	4.90	65.60	0.00
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	-	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	-	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	-	-	-	-	-

脳梗塞の患者が入院された時点で、発症から3日以内かその他を示す指標ですが、患者数が10症例に満たない場合は発症日から3日以内とその他をあわせて表示することとし、それでも10症例に満たない場合は「-」で表示することになっています。

脳梗塞の分類にあたる患者の集計なので、ほとんど脳神経外科に入院された患者になります。脳梗塞の症例の割合が多く、特に発症日から3日以内の急性期脳梗塞が多くなっています。当院脳卒中センターではt-PA静脈療法に代表される内科的治療や脳梗塞やくも膜下出血、脳出血には従来から行われている開頭術とカテーテル療法や神経内視鏡手術などを行っています。当院ではケアミックス病院の特徴を生かし、平均20日程度の急性期の治療後引き続いて回復期病棟でリハビリを行っています。入院日数が長く、転院率が低いのは自院で一貫した治療とリハビリを行っているからです。

## 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

◇10 症例に満たない場合は「-」で表示することとなっており、対象患者が「0」ではありません。

### 内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	70	0.66	1.49	0.00	67.00	
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	50	1.22	6.92	0.00	73.00	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	24	7.54	11.83	20.83	75.96	
K654	内視鏡的消化管止血術	19	2.58	14.89	15.79	68.84	
K6871	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみのもの)	12	8.75	10.08	0.00	64.00	

内科では大腸ポリープや大腸腫瘍に対する内視鏡的ポリープ・粘膜切除術を最も多く行っています。また、胆管炎や胆嚢炎の患者に対し、胆汁の流れをよくする内視鏡的胆道ステント留置術や乳頭切開術を行っています。

### 循環器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	23	2.65	4.57	0.00	70.83	
K597-2	ペースメーカー交換術	18	0.89	7.28	0.00	75.28	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術(心房中隔穿刺、心外膜アプローチ)	-	-	-	-	-	
K5463	経皮的冠動脈形成術(その他)	-	-	-	-	-	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	-	-	-	-	-	

狭心症、心筋梗塞の患者へ経皮的冠動脈ステント留置術や経皮的冠動脈形成術といった心臓カテーテル治療を行っています。また徐脈性不整脈や心不全に対して行ったペースメーカーの交換や頻脈性不整脈に対して、アブレーションも行っています。

### 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7434	痔核手術(脱肛を含む)(根治手術)	25	1.16	3.04	0.00	56.04	
K6335	鼠径ヘルニア手術	15	1.07	3.73	0.00	67.73	
K672	胆嚢摘出術	15	6.53	15.20	0.00	63.60	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	13	2.46	5.54	0.00	62.23	
K74214	直腸脱手術(経会陰によるもの)(腸管切除を伴わないもの)	11	1.00	5.27	0.00	83.18	

外科では痔核手術、ヘルニア手術、胆嚢炎や胆石症などの胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術を行っています。胆嚢摘出術は腹腔鏡下試行されることが多く、手術に対する患者の負担をできるだけ小さくするよう努めています。



## 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術(肩甲骨, 上腕, 大腿)	57	3.54	58.54	5.26	76.68	
K0462	骨折観血的手術(前腕, 下腿, 手舟状骨)	36	2.47	22.72	0.00	64.06	
K0811	人工骨頭挿入術(肩, 股)	30	1.67	65.30	6.67	81.00	
K0463	骨折観血的手術(鎖骨, 膝蓋骨, 手(舟状骨を除く), 足, 指(手, 足)その他)	25	2.36	23.12	0.00	57.12	
K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕, 下腿)	18	1.00	3.17	0.00	56.11	

最近の患者の特徴として高齢者の大腿骨や股関節の骨折に対する手術が多くなっています。当院は総合病院であるため、術後の合併症に対し治療が可能であり、また同施設内の回復期病棟にて受傷前のADLに回復するまで治療を受けていただける体制を整えています。

## 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K427	頬骨骨折観血的整復術	-	-	-	-	-	
K2191	眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	-	-	-	-	-	
K0021	デブリードマン(100cm <sup>2</sup> 未満)	-	-	-	-	-	
K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径4cm以上)	-	-	-	-	-	
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径6cm以上12cm未満)	-	-	-	-	-	

形成外科では顔面の手術や皮膚や皮下の良性腫瘍の切除を行っています。

## 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K1781	脳血管内手術(1箇所)	16	0.38	112.25	25.00	67.31	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	16	0.31	78.13	6.25	74.19	
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	15	3.00	21.27	0.00	72.80	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	-	-	-	-	-	
K178-2	経皮的脳血管形成術	-	-	-	-	-	

脳動脈瘤、脳動静脈奇形等の脳血管異常に対して、血管内手術用カテーテルを用いて手術を行います。

## 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821□	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	79	0.00	2.05	0.00	75.41	
K2801	硝子体茎頭顕微鏡下離断術(網膜付着組織を含む)	22	0.32	6.05	0.00	66.36	
K279	硝子体切除術	-	-	-	-	-	
K2821△	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(縫着レンズを挿入するもの)	-	-	-	-	-	
K2682	緑内障手術(流出路再建術)	-	-	-	-	-	

眼科では白内障に対する手術である水晶体再建術が大部分を占めています。次いで硝子体茎頭顕微鏡下離断術で、網膜前膜、黄斑円孔などの網膜硝子体に対する手術です。上記の白内障手術と硝子体手術を同時に行うこともあります。

#### 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8036□	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	-	-	-	-	-	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	10	0.37
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	11	0.40
		異なる	-	-

播種性血管内凝固症候群（DIC）は肺炎や敗血症などに合併することが多い疾患です。DICそのもので入院された患者や合併をおこしている患者は全体の1割以下となっています。

敗血症や真菌感染症なども肺炎や尿路感染症などから合併することが多い疾患です。入院時すでに敗血症を発症されている患者や入院後に発症された患者も1割以下となっています。

眼内レンズ脱臼や手術後の感染症を発症された患者が、手術・処置などの合併症に該当します。手術・処置などの合併症はないよう努力をしておりますが、皆無にすることはできず、発症時には早急に対応するべく体制を整えています。